

平成29年度「オリンピック・パラリンピック・ムーブメント全国展開事業」

事業実施報告書

- | | |
|-----|------------------------------------|
| I | スポーツ及びオリンピック、パラリンピックの意義や歴史に関する学び |
| II | マナーとおもてなしの心を備えたボランティアの育成 |
| III | スポーツを通じたインクルーシブな社会（共生社会）の構築 |
| IV | 日本の伝統、郷土の文化や世界の文化の理解、多様性を尊重する態度の育成 |
| V | スポーツに対する興味・関心の向上、スポーツを楽しむ心の育成 |

学校名【 東広島市立小谷小学校 】

1 実践テーマ	【I・III・V】
2 実施対象者	全学年（11 学級・270 人）
3 展開の形式	学習環境整備
4 目標（ねらい）	・クイズや書籍、パネルなどを掲示し、楽しみながらオリンピック・パラリンピックについて知ることのできる学習コーナーを整備することで、オリンピック・パラリンピックに対する関心を高める。
5 取組内容	オリンピック・パラリンピックへの関心を高め、知識を獲得するための学習コーナー、「みんなの知らないオリンピック・パラリンピックの世界」の整備を行った。    エンプレムの説明と関連書籍等の紹介 オリンピックと科学についての紹介 パラリンピックについてのクイズ 【参考資料】 ・東京オリンピック・パラリンピック競技大会組織委員HP ・「I'mPOSSIBLE」教材キット・HP ・『オリンピック・パラリンピックに関する指導参考資料』（スポーツ庁H29） ・「プリンス・メロッド記念」HP（長野オリンピックスポーツ科学プログラム） ・オリンピック・パラリンピック児童用関連図書・関連新聞記事
6 主な成果	・それまでオリンピック・パラリンピックに関心が薄かった児童も、友達と共に休み時間にクイズに挑戦したり、書籍を手にとったりする等、関心が高まっている様子であった。
7 実践において工夫した点（事業の特色）	・教室移動の際に児童が多く通るオープンスペースを利用して学習コーナーを設置した。 ・幅広い発達段階の児童に興味をもってもらえるように、多くの資料から情報を選び、写真やイラスト等の多い、児童がなじみやすい掲示物を心掛けた。 ・マスコット学級選挙や本校が推進校として取材を受けた新聞記事等についても掲示することで、児童が新聞をはじめとするメディアを情報源として身近に感じられるようにした。
8 主な課題等	・オリンピック・パラリンピック教育推進担当が整備を行ったが、児童が興味をもちうる情報を十分に集めることが難しく、定期的に更新作業を行うことができていない。
9 来年度以降の実践予定	・東京大会に向けて新聞等のメディアによる情報が増加することが考えられる。児童の関心に沿って情報を更新させながら、充実させていく。

